

名称：脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

指標番号：

QIP: 2081

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日：2018-09-21

指標群：脳卒中

名称：脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

意義：退院後の再発予防内容をみるプロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：脳梗塞で入院した症例数

分子：分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、脳梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードがともに下記である症例。疑い病名は含めない。

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞

3：

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4：

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義：

1：

スタチンが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定：

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189011	シンバスタチン	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189017	ロスバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190104	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:  
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:  
脳卒中治療ガイドライン(2009年版4-1(3)および2015年版3-1(3) 脳梗塞慢性期 脂質異常症)

2:  
脳卒中ガイドライン2015. p92. 3-1

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21